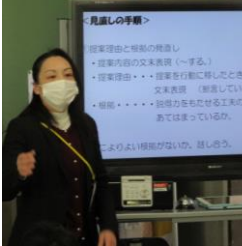


白岡市立篠津小学校

5年生
国語

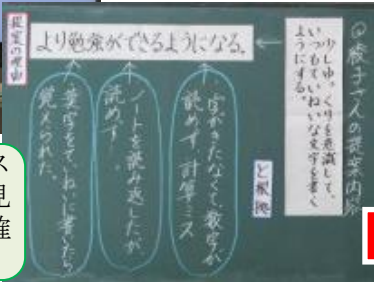
単元名・教材名 事実と感想、意見とを区別して、説得力のある提案をしよう
「提案しよう、言葉とわたしたち」

指導事項を意識した話し合い活動を行うための教師の丁寧な説明



モデル文からスピーチメモを見直す視点を明確にする工夫

提案理由や根拠を中心にスピーチメモを見直そう。



活発な話し合い活動に！！



自分の主張について説得力をもたせるためにスピーチメモを見直す話し合いの様子

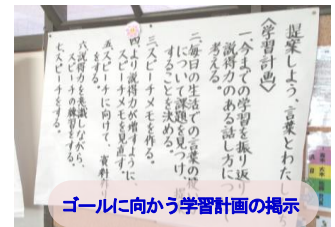
授業の様子から(授業の観てほしいポイントを踏まえ)

「私の授業の観てほしいポイント」

- ① 話し合う活動によって、より説得力をもたせるための構成や内容、資料づくりについて、学びを深めることができたか？
- ② スピーチメモ(ワークシート)は、児童にとって提案の構成を考える上で効果的であったか？
- ③ 教師が提示したモデルは、友達へのアドバイスを考える上で効果的であったか？

授業の様子

- 児童からの提案を実際に行動に移すことを目的にしたことで、児童は、目的意識や学ぶ必要感を高めることができていた。
- 単元のゴールを意識した学習計画を児童と共有し、1時間ごとの授業を結びつけるとともに、学びの蓄積を行っていた。
- クラスの友達に対する意識調査や大人へのインタビューを行い、根拠となる資料について話し合うことができた。
- 根拠となる資料は、アンケートの結果や必要な人へのインタビューの内容など、多様な視点から検討・作成することで説得力が高まることを話し合いを通して学ぶことができていた。
- 児童は、教師の作成したモデルから、「何を学ぶか、どのように学ぶか、何ができるようになるか」を知り、深い学びにつながっていた。



ゴールに向かう学習計画の掲示



児童の思考を整理する構造的なワークシート



今日の課題に対して自らまじめを書いている児童の姿

指導者から

- 授業を構成する段階で、「子供たちに必要な力は何か」「何を身に付ける必要があるのか」について、実態を適切に把握し、丁寧に検討しており、適切な手立てを講じている。
- 指導事項を身に付けるためにふさわしい言語活動を設定することができている。本教材の良さを生かした授業を展開することができている。
- 思考の流れがわかるワークシートや教師作成のモデル文、友達との話し合いにより、スピーチメモが、具体的でより説得力のあるものに本授業内で変わっていった。